

パンジー・ピザ

Pansy Pizza

© Dedri Uys 2021. All Rights Reserved.

Japanese translation by Masako Kawahara (VJ_1_20220205)



このマンダラは **楽しさ**と**喜び** を表しています。さらに、私があみものをするときに大好きだと思ふ **色・かわいらしさ・気まぐれ・懐かしさ** も詰まっています。

パンジー部分は、私の曾祖母が1950年代頃に編んだレース編みに使われていたものです。編み方は2014年に公開しました。パターン化の作業中は、彼女との懐かしい日々が思い出されました。

まるで、年月を超えて会話をしているような感覚。うまく言えませんが、小さな間違いや編み方のキツさ・緩さが変化したことを見つけたときほど、曾祖母を近くに感じました。そこにいたのは、髪をきちんと整え、よい香りのする、記憶のなかの老婦人ではなく、子育てをしながら他のこともしている、ひとりの若い女性でした。

2014年にもパンジー・ピザを作ろうとしました。かわいいものができたのですが、当時はパターンとして完成することはありませんでした。あれから7年しか過ぎていませんが、もう一度、取り組むことができました。

パンジー・ピザ、見ただけで笑顔になってきませんか。



材料

- Scheepjes ソフトファン カラーパック レインボー (1玉 20g/56m、60% コットン、40% アクリル)
 - 糸 A – Bumblebee (2634) – 黄色
 - 糸 B – Soft Coral (2636) – ピンク
 - 糸 C – Pumpkin (2651) – オレンジ
 - 糸 D – Candy Apple (2410) – 赤
 - 糸 E – Pink (2480) – Dusky Pink
 - 糸 F – Hot Pink (2495) – 濃いピンク
 - 糸 G – Violet (2519) – 薄紫
 - 糸 H – Deep Violet (2515) – 紫
 - 糸 I – Apple (2516) – 黄緑
 - 糸 J – Emerald (2605) – 緑
 - 糸 K – Cool Blue (2603) – 水色
 - 糸 L – Dark Turquoise (2511) – 青
- かぎ針 6/0号 (3.5mm)
- オプション: 40cm の枠

ゲージ

パンジーの三角形モチーフ = 一辺 約15.5cm (ブロック済)

出来上がりサイズ

- 9段目まで – 36cm 65g
- 10段目まで – 40cm 75g

略語 (アメリカ式)

- **Beg** – 編みはじめ
- **Ch** – 鎖編み
- **Dc** – 長編み
- **Dtr** – 三ツ巻長編み
- **Hdc** – 中長編み
- **RS** – 表側
- **Sc** – 細編み
- **Sl st** – 引き抜き編み
- **Sp/sps** – 鎖編みでできるスペース
- **St/sts** – 目
- **SM** – ステッチマーカー
- **Tr** – 長々編み
- **WS** – 裏側

区切り記号

- 大括弧 [] ひとつの目や鎖編みスペースに対して [] 内に書かれた目を編みます。
- *と括弧 () 繰り返しを表します。*と*の間に書かれた指示や () 内の指示を、指定された回数分繰り返します。



特別な編み方

玉編み（長編み3目）： かぎ針に糸をかけて、指定された目に入れ、糸をかけて引き上げます。糸をかけて、かぎ針にかかった2本のループを引き抜きます。（かぎ針に糸をかけて、同じ目に入れ、糸をかけて引き上げます。糸をかけて、かぎ針にかかった2本のループを引き抜きます）×2回。かぎ針に糸をかけて、かぎ針にかかっている4本のループをすべて引き抜きます。

小さな花びら： 鎖3目スペースに〔中長編み1目、長編み1目、長々編み4目、長編み1目、中長編み1目〕を編みます。

大きな花びら： 鎖3目スペースに〔中長編み1目、長編み1目、長々編み2目、三ツ巻長編み3目、長々編み2目、長編み1目、中長編み1目〕を編みます。

スタンディング編み： スタンディング編みは、次の段を新しい色で編むときに使われます（前段の終わりの位置と異なる位置から編みはじめるときにも使われます）。スタンディング編みは、直前の目につながっていないこと以外は、通常の編み方とまったく同じです。かぎ針に目を作り、人差し指で目を押えながら、通常の手順で編みます。

ただし〜は編みません： 段によっては、繰り返しの最後では、コーナーを編まないという指示が出てきます。最初に編んでいる部分があり、最後の繰り返しでは編む必要がないときに使われます。

編み図記号

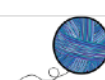
•	Sl st – Slip stitch 引き抜き編み		Fpdc – Front post double crochet 表引き上げ編み 長編み
○	Ch – Chain 鎖編み		Tr – Treble crochet 長々編み
+	Sc – Single crochet 細編み		Dtr – Double treble crochet 三ツ巻長編み
T	Hdc – Half-double crochet 中長編み		3 dc bobble – 3 dc bobble stitch 長編み3目の玉編み
	Dc – Double crochet 長編み		

パンジー

写真付きチュートリアルもあります（日本語版あり）：<https://lookatwhatimade.net/crafts/yarn/crochet/free-crochet-patterns/grannys-crochet-pansy/>

次の表に示した配色でパンジーを6個編みます。

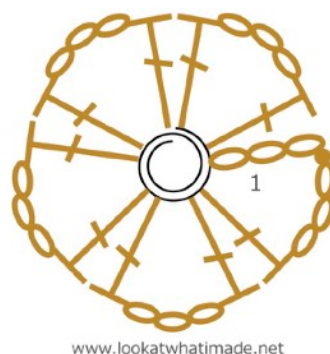
	パンジー 1	パンジー 2	パンジー 3	パンジー 4	パンジー 5	パンジー 6
1段目	A	A	A	A	A	A
2段目a	H	C	G	B	E	F
2段目b	E	B	H	C	F	D
3段目	G	F	E	D	H	C



1段目

糸Aでわに編み入れます。鎖3目（最初の長編み1目としてカウント）、長編み1目、鎖3目。（長編み2目、鎖3目）×4回。わの糸を引き、穴を小さくし、最初の鎖3目の頭に引き抜きます。糸を切ります。

目数: 長編み10目、鎖3目スペース 5

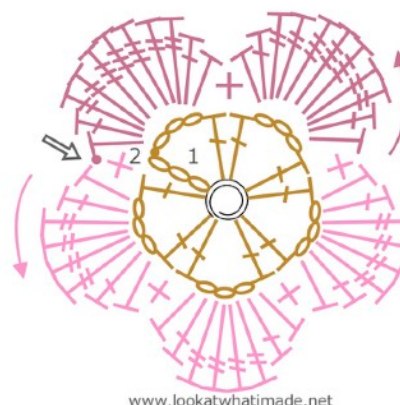


2段目

2段目aの糸を使って、前段の長編み2目の間に、スタンディング細編みを編みます。（次の鎖3目スペースに**小さな花びら**を編む）×3回。最後の細編みの最後の糸を引き抜くところで、2段目bの糸に替えます。

次の鎖3目スペースに**大きな花びら**を編み、次の長編み2目の間に細編み、次の鎖3目スペースに**大きな花びら**を編みます。最初の細編みに引き抜きます。鎖1目を編んで、編地を裏返します。

目数: 50 目／花びら5枚



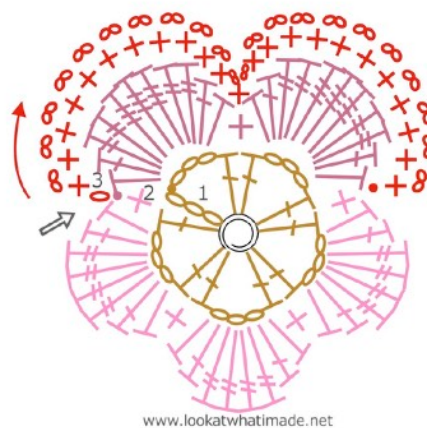
3段目

この段は、前段の**大きな花びら2枚**にのみ編みます。また、編地の裏側から編みます。

最初の引き抜き編みを飛ばします。次の22目に（細編み1目、鎖2目）を繰り返します。最後の目に細編み1目を編み、同じ目に引き抜きます。最後の目は色が替わる直前の目になります（2段目で小さな花びらと大きな花びらの色を替えている場合）。糸を切り、糸端の始末をしてください。

目数: 細編み23目、鎖2目スペース 22





出来上がった大きな花びら2枚は、すこしおかしな形に見えるかもしれませんが、このようにデザインしています。花びら2枚が重なって、フリルのようになります。

三角形モチーフ

パンジーができたら、次は三角形モチーフにしていきます。

4段目

糸Iで、パンジーの1枚目の大きな花びらの2番目の鎖2目スペースにスタンディング細編みを編みます。鎖5目、鎖2目スペースを**2つ飛ばして**、その次の鎖2目スペースに〔玉編み、**鎖6目**、玉編み〕。これが最初のコーナーになります。

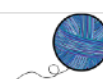
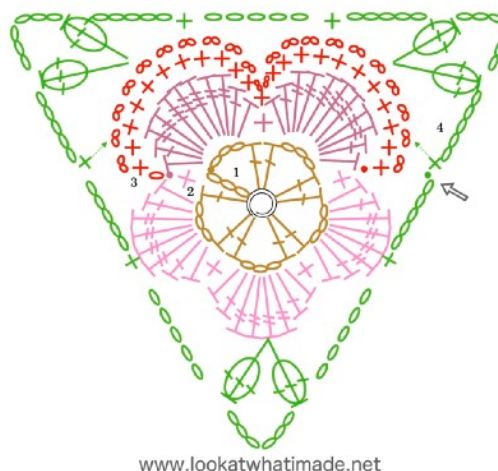
鎖5目、次の鎖2目スペースを飛ばして、その次の鎖2目スペースに細編み1目。鎖5目、鎖2目スペースを**8つ飛ばして**、その次の鎖2目スペースに細編み1目。鎖5目、次の鎖2目スペースを飛ばして、その次の鎖2目スペースに〔玉編み、**鎖6目**、玉編み〕。これが2番目のコーナーになります。

鎖5目、鎖2目スペースを**2つ飛ばして**、その次の鎖2目スペースに細編み1目。この目は、大きな花びらの最後から2つ目の鎖2目スペースに編むことになります。

鎖5目、1枚目の小さな花びらの5番目の目（3番目の長々編み）に細編み1目。鎖5目、次の小さな花びらの5番目の目に〔玉編み、**鎖6目**、玉編み〕。これが3番目のコーナーになります。

鎖5目、次の小さな花びらの**4番目の目**（2番目の長々編み）に細編み1目。鎖5目、最初の細編みに引き抜きます。糸を切ります。

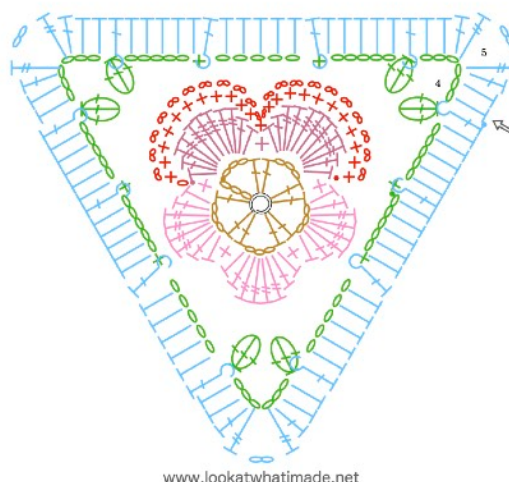
目数: 玉編み**6目**、細編み**6目**、鎖5目スペース **9**、コーナーの鎖6目スペース **3**



5段目

糸Eで、鎖6目コーナーにスタンディング中長編みを編みます。同じ鎖6目コーナーに〔中長編み1目、長編み1目、長々編み1目、鎖2目、長々編み1目、長編み1目、中長編み2目〕。これが最初のコーナーになります。＊（次の目に〈表引き上げ編み〉長編み、次の鎖5目スペースに中長編み5目）**×3回**。次の目に〈表引き上げ編み〉長編み。次の鎖6目コーナーに〔中長編み2目、長編み1目、長々編み1目、鎖2目、長々編み1目、長編み1目、中長編み2目〕＊
＊～＊を**2回**繰り返します。ただし、繰り返しの最後のコーナーは編みません。最初の中長編みに引き抜きます。糸を切り、糸端のしまつをします。

一辺あたりの目数: 27目 - 中長編み19目、長編み2目、長々編み2目、〈表引き上げ編み〉長編み4目（コーナーの鎖2目スペースは含まない）

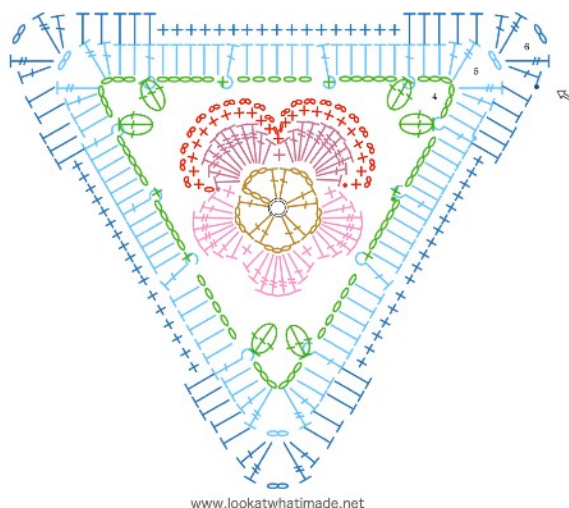


6段目

糸Fで、鎖2目コーナーにスタンディング長編みを編みます。同じ鎖2目コーナーに〔長々編み1目、鎖2目、長々編み1目、長編み1目〕。これが最初のコーナーになります。＊次の5目に中長編みを1目ずつ。最後のの中長編みは**前段の**最初の〈表引き上げ編み〉長編みに編みます。違う目に編んでいた場合は、コーナーの直後の見えにくい目に編み忘れている可能性があります。次の17目に細編みを1目ずつ。最後の5目に中長編みを1目ずつ。次の鎖2目コーナーに〔長編み1目、長々編み1目、鎖2目、長々編み1目、長編み1目〕＊

＊～＊を**2回**繰り返します。ただし、繰り返しの最後のコーナーは編みません。最初の長編みに引き抜きます。糸を切り、糸端のしまつをします。

一辺あたりの目数: 31目 - 細編み17目、中長編み10目、長編み2目、長々編み2目（コーナーの鎖2目スペースは含まない）



ブロッキング

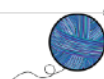
ブロッキングについては、三角形モチーフをつなぐ前でもあとでもよいです。ブロッキングしなくてもよいのですが、その場合は編み目のゆがみが少し目立ちます。また、ブロッキングで三角形の角がくっきりすると、よりきれいになります。



三角形モチーフをつなぐ

表面を上 に します。 写真（左）のように、三角形モチーフを、パンジーの下が中心を向くようにして、六角形に並べます。

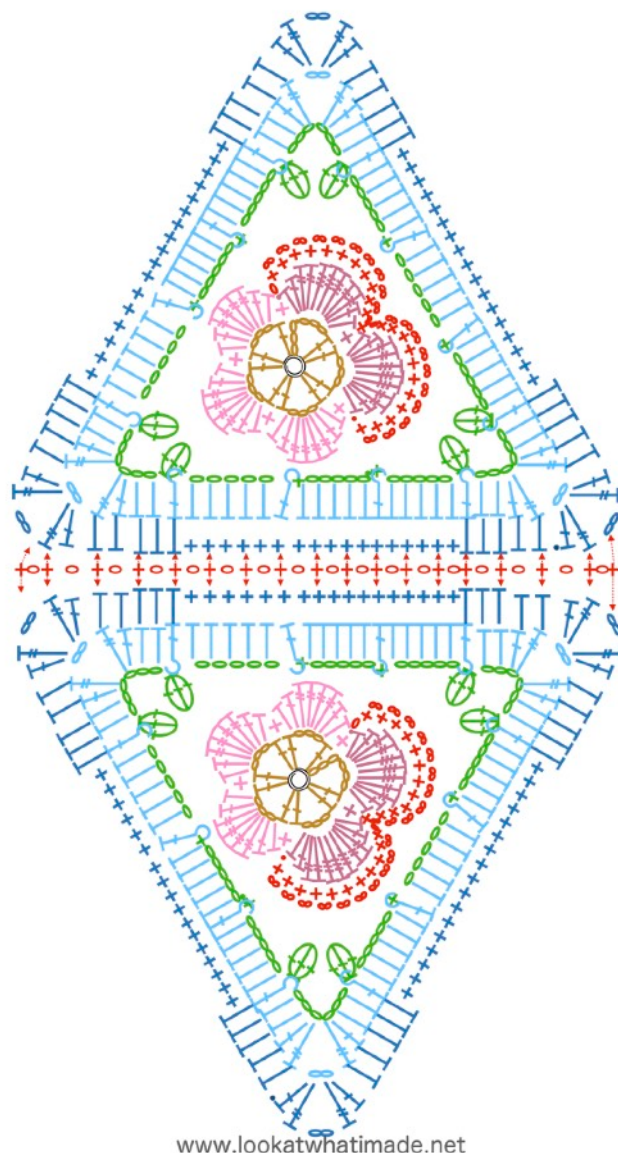
1枚目の三角形モチーフの端をもちあげて、2枚目の上に中表になるように重ねます。両方ともパンジーの下側がと左側を向くようにしてください。左利きの場合は、1枚目を6枚目の上に重ねます。パンジーの下側は右側になります。



＊糸Lで、かぎ針編みに目を作り、奥側にある鎖2目スペースにスタンディング細編みを編みます。ここからは三角形モチーフ2枚重ねて編みます。鎖1目。次の目に細編み1目。かぎ針を入れる目を間違えないように注意してください。（鎖1目、次の目は飛ばし、その次の目に細編み1目）三角形の一辺の終わりまで繰り返します。鎖1目、鎖2目スペースに細編み1目。糸を切ります。＊



つなぎ終えた三角形モチーフ1と2を、3枚目の三角形モチーフの上に中表になるように重ね、上の＊～＊を繰り返します。左利きの場合は三角形モチーフ1と6を5枚目の上に重ねてください。



www.lookatwhatimade.net

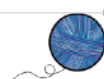
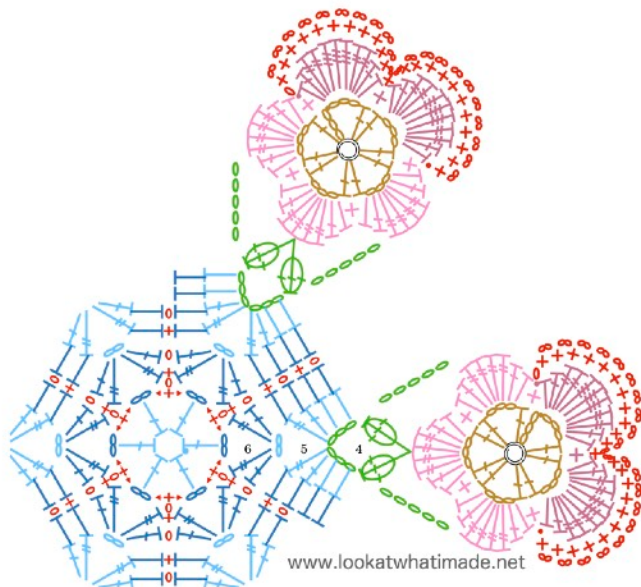


同じようにして、すべての三角形モチーフをつなぎます。つなぎ終わると、写真（左）のように、真ん中に穴が空いています。次は、その穴をふさいでいきます。

表面を上 に します。糸Lで、三角形モチーフの中心側にある鎖2目スペースにスタンディング長編みを編みます。



残りのモチーフの鎖2目スペースにも長編みを1目ずつ編み、最初の長編みに引き抜きます。糸を切り、糸端のしまつをします。



7段目

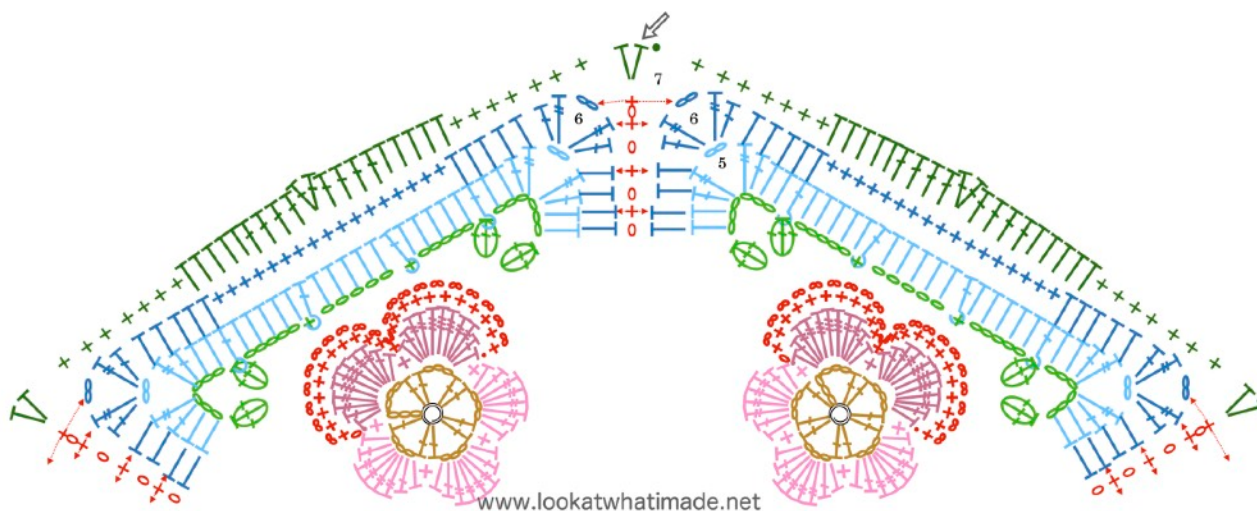
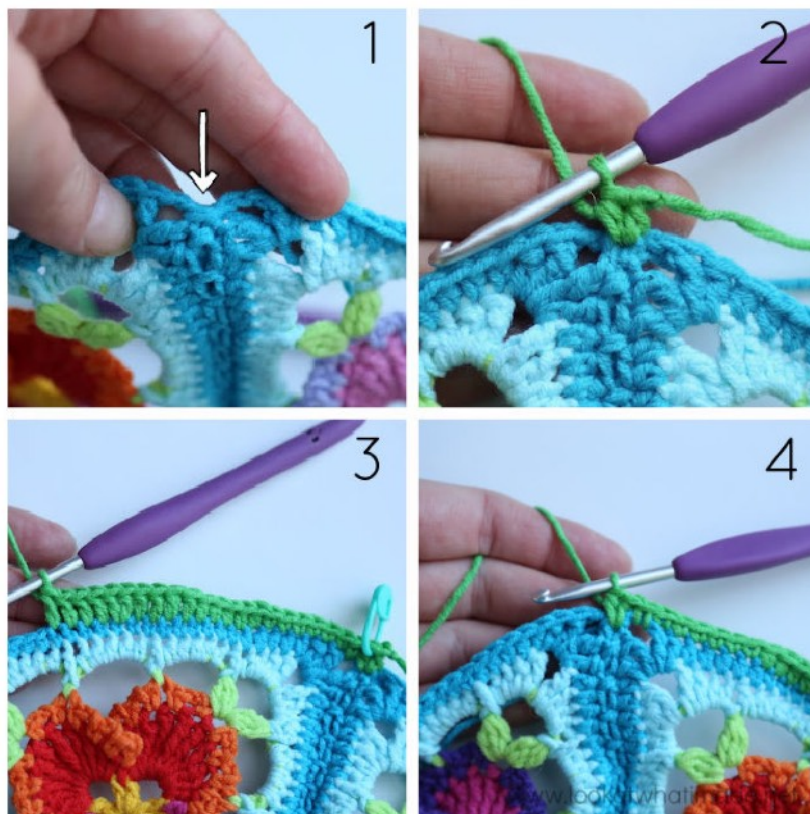
2つの三角形モチーフのつなぎ目から編みはじめます。鎖2目スペースの間に水平に糸が渡っています {写真 1}。これは2枚のモチーフをつないだときの最初の目です。

糸Fで、横に渡っている糸にスタンディング中長編みを編みます。同じ糸に中長編み1目 {写真 2}。この中長編みにマーカーをつけてください。

＊次の三角形モチーフの最初の鎖2目スペースに細編み1目。次の6目に細編みを1目ずつ、次の5目に中長編みを1目ずつ、次の4目に長編みを1目ずつ編みます。次の目に長編み2目。次の4目に長編みを1目ずつ {写真 3}。次の5目に中長編みを1目ずつ、次の6目に細編みを1目ずつ編みます。次の鎖2目スペースに細編み1目。次の横に渡っている糸に中長編み2目 {写真 4}＊

＊～＊を5回繰り返します。ただし、繰り返しの最後の中長編み2目は編みません。最初の中長編みに引き抜きます。糸を切り、糸端のしまつをします。

目数: 216目 - 細編み84目、中長編み72目、長編み30目



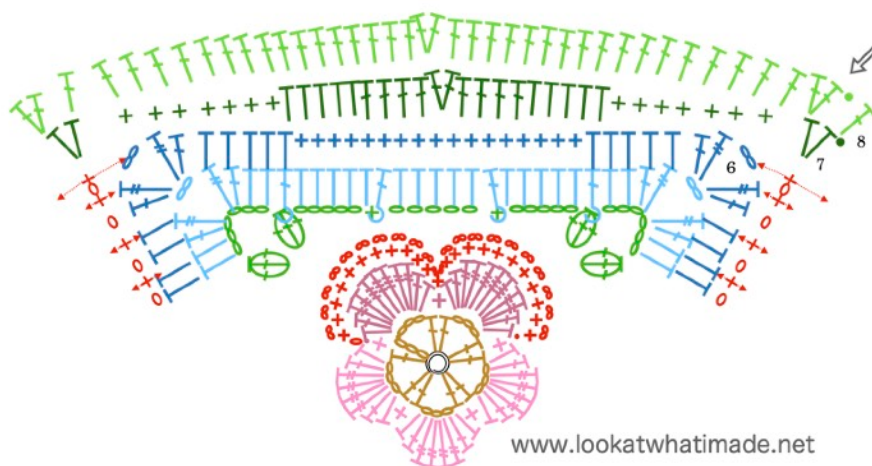
8段目

この段の増し目は、常に、前段の増し目の2番目の目に編みます。

糸Cで、前段の2番目の中長編み（マーカーを付けた目）にスタンディング長編みを編みます。同じ目に長編み1目。この目にマーカーを付けます。

（次の17目に長編みを1目ずつ。次の目に長編み2目。前段の増し目の2番目の目に編みます）**×11回**。最後の17目に長編みを1目ずつ。最初の長編みに引き抜きます。糸を切ります。

目数: 長編み**228目**



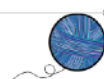
9段目

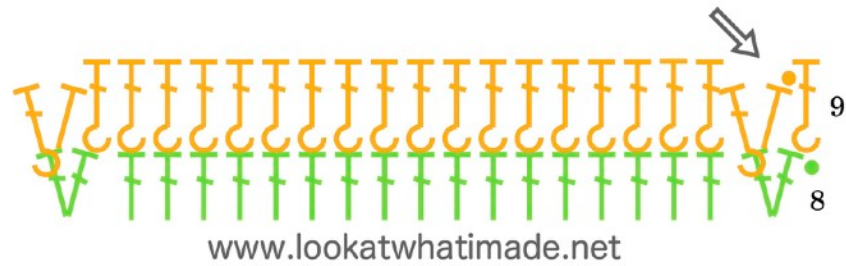
この段の【中長編み、〈表引き上げ編み〉長編み】は、常に、前段の増し目の2番目の長編みに編みます。

糸Eで、前段の2番目の長編み（マーカーを付けた目）にスタンディング中長編みを編みます。同じ目に〈表引き上げ編み〉長編み1目。この目にマーカーを付けます。

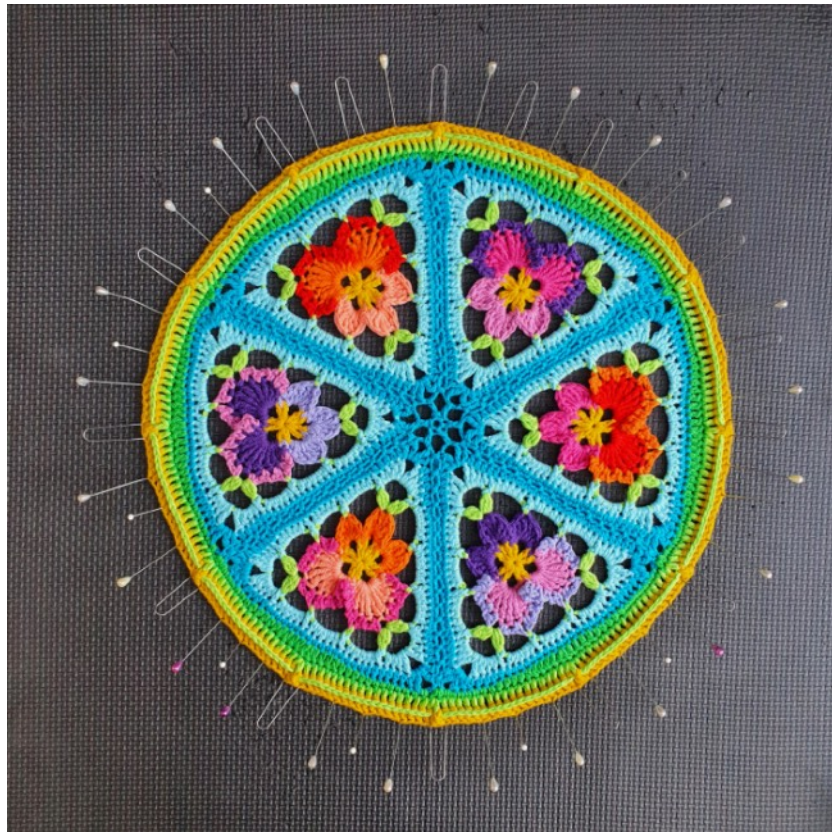
（次の18目に〈裏引き上げ編み〉長編みを1目ずつ。次の目に〔中長編み1目、〈表引き上げ編み〉長編み1目〕）**×11回**。最後の18目に〈裏引き上げ編み〉長編みを1目ずつ。最初の中長編みに引き抜きます。糸を切ります。

目数: 240目 - 中長編み12目、〈表引き上げ編み〉長編み12目、〈裏引き上げ編み〉長編み216目





写真は9段目まで編み上がったものをブロッキング（ピン打ち）しているところ。



ここから先は：

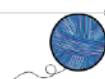
- 糸始末をして、お部屋を飾るマットとして使う
- ソフィーズ・ユニバースのパート4を利用してマンダラを四角形モチーフにする。マーカーを付けた目から、ソフィーズ・ユニバースの26段目を編みます。.
- 次で紹介する10段目を編んで、ウォールハングングとして使う



10段目

糸Bで、前段のマーカーを付けた〈表引き上げ編み〉長編みに引き抜き編み。（次の2目を飛ばし、その次の目に〔長編み3目、鎖1目、長編み3目〕、次の2目を飛ばし、その次の目に引き抜き編み）すべての目に繰り返します。最後の引き抜き編みは、最初に引き抜き編みをした〈表引き上げ編み〉長編みに編むことになります。糸を切り、糸端の始末をします。

目数: シェル編み 40目



フープに取り付ける

20cm ほどの糸を8本用意します。この糸を使って、シェル編み5目ごとに、全部で8か所を枠に結びつけます。間隔が均等になり、マンダラがきれいに張るようにしてください。

糸Bを約2mカットし、とじ針に通します。シェル編みの先端の鎖1目スペースに糸を結び、次の手順で枠にマンダラを付けます。

＊枠のまわりに糸をかけて、次のシェル編みの先端の鎖1目スペースに、裏側から表側にとじ針を通し、糸を引きます＊

＊～＊をすべてのシェル編みに繰り返します。はじめの位置に戻ったら、シェル編みが均等に並んでいること、シェル編みと枠との間隔やマンダラの張り具合がちょうどよいことを確認しましょう。すべての目がきれいに並ぶように調整できたら、最後の糸端を最初の鎖1目スペースに結び、糸端の始末をします。

これで完成です。壁にかけて飾りましょう😊



投稿するときはハッシュタグ **#pansypizza** をつけてください。見せていただけることを楽しみにしています。

質問やご意見・ご感想はこちらをお願いします。

Website: <http://www.lookatwhatimade.net/>

Ravelry: <http://www.ravelry.com/designers/dedri-uys>

Instagram: <http://instagram.com/barbertondaisy>

Pinterest: <http://www.pinterest.com/dedri/>

Facebook: www.facebook.com/lookatwhatimade

